

# 健康教育 特別活動 学習指導案

授業学級 茅野市小中一貫校湖東小学校 6年1組 男子 19名 女子 12名 計 31名  
 授業者 養護教諭 岩波詩野 学級担任 今井健文  
 ゲストティーチャー SC 恵谷美香先生

## 4 修正本時案 令和3年12月16日 木曜日 第5校時

### (1) 主眼

心の健康について学び、様々な悩みの解決法の一つとして、「相談すること」を理解している子どもたちが、“心の痛み”に目を向け、自分の悩みを話したり友だちの悩みを聞いたりする時にどのようなやりとりをするか考える場面で、聞くときのマナーを知ったり、SC からアドバイスを受れたり、自分の考えをグループで伝え合ったりすることを通して、SOS を発したり受け止めたりする時の言葉を具体的に想定することができる。

### (2) 本時の位置(全3時間中第2時)

前時(湖東タイム 15分間): 「自分マップ」を作ろう (12月6日(月))

次時(湖東タイム 15分間): 自分の良さ・大切な“自分” (1月11日(火))

### (3) 指導上の留意点

- ・事前にアンケートをとり、児童の実態を把握する
- ・相談を切り出したり、受け止めたりする言葉の具体的な例を示し、円滑に言葉を選べるようにする
- ・「聞くときのマナー」「話すときのマナー」を提示し、思いやりのあるやりとりができるよう配慮する
- ・気持ちや考えは児童一人ひとり違うものであるため、活動の中で多様な考えを認められるよう配慮する
- ・教職員が SOS の受け止め方を共通理解した上で児童への指導を行う
- ・家庭に対しても指導内容や SOS の受け止め方について情報発信する

### (4) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	手立て 評価	時間
導 入 の か む	0 前時のふりかえり ・「自分マップ」の確認 ・この時間も適宜加筆して良い		・「自分マップ」:授業前返却 ・前時の感想紹介	5
	1 恵谷先生のご紹介		恵谷T:自己紹介・お仕事の紹介「お話を聴くプロ」「 <u>相談のプロ</u> 」大切にしていること	
	2 「相談する」場面	・どういときに相談が必要なのだろう ・“心の痛み”とはどんなものだろう ・自分もそういう経験がある	相談が必要な場面とは “心の痛み”: <u>「嫌だ」「モヤモヤする」「イライラする」「悲しい」「困った」</u> ・からだの痛みに手当をするのと同じように心の痛みにも手当が必要	
学習問題 “心の痛み”を手当てする言葉とはどのようなものだろうか。				

	<p>学習課題 登場人物の気持ちになって、相談を切り出したり、受け止めたりするときの言葉を考えよう</p>			5
<p>展開 (さぐる)</p> <p>展開 (見つける)</p>	<p>3 具体場面で登場人物の気持ちを想像しながらどんな言葉を発するか考える</p> <p><b>ケース</b> 児童会の集会の準備をがんばっている山田さん。同じ委員会の6年生が活動に消極的でいつも自分にばかり仕事を任せられて困っている。一緒に委員会で、仲が良いと思っていた川村さんには特に協力してもらいたいと思っているが、最近避けられたり無視されたりしていると感じている。</p> <p>* Step1～3の流れで、相談を切り出すときの言葉、相談をされたときに掛ける言葉を考える</p> <p>[1]一人で考える(7分) Step1 山田さんの“心の痛み”は何か Step2 あなたが山田さんだったら誰に・どんな言葉で話すか考える</p> <p>[2]3～4人のグループで共有・ロールプレイ(13分) Step3 グループの友だち2～3人にどんな言葉で話すか それを聞いたらどんな言葉を掛けるか</p> <p>[3]全体で発表・共有(8分) * ロールプレイをしながら発表 * ロールプレイをしてどう感じたか・見てどう感じたか発表</p>	<p>・同じような経験をしたことがあるな。 ・自分だったら嫌な気持ちになるだろうな。 ・委員会のことを一人でやるのは困ったな。 ・気持ちを考えるのは難しい ・無視されたら頭にくるかもしれない</p> <p>Step1 ・周りの助けがないことがとてもつらい ・仲が良いと思っていた川村さんに無視されて悲しい</p> <p>Step2 ・[お母さんに]「学校でいやなことがあったから聞いてほしいんだけど。同じ委員会の人みんな児童集会の準備を手伝ってくれなくて～」 ・[先生に]「委員会のことで聞いてもらいたいことがあります。自分ばかり児童集会の準備をしなければならぬし、今日は川村さんから避けられて～」 ・[友だちに]「ねえ、ちょっと困ったことがあるんだけど、委員会の児童集会の準備を全然みんないっしょにやってくれなくて～」</p> <p>Step3 ・「そんなことがあったんだ」 ・「それは大変だったね」 ・「一人でとても頑張ったんだね」</p>	<p>・ワークシート配付</p> <p>聞くときのマナー * まず“気持ち”を考える * 否定しない * 最後まで聞く</p> <p>話すときのマナー * ”困っている“ということが伝わるように * 真剣な気持ちで伝える そっとしておいてほしい、と感じる人もいる “心の痛み”は手当てが必要 手当てするために考えてみる</p> <p>Step1 考えるときのポイント * が がつらい・悲しい * に 困っている * が になってほしい</p> <p>言葉が見つからない場合、ワークシートに書かれた表現をヒントに考えるよう助言</p> <p>恵谷T: 机間巡視や発表の中でアドバイスを伝えていただく</p> <p>グループワークを行う前に再度「聞くときのマナー」を確認</p> <p>相談したい気持ちを表現する言葉を考えることができたか。 友だちの気持ちに寄り添った言葉を考えることができたか。</p>	28

<p>終末(決める)</p>	<p>4 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだこと、これからの生活に活かせそうだと感じたことをワークシートに書く</li> <li>・「自分マップ」の加筆</li> <li>・友だちの良かったところをふせんに書く</li> </ul> <p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったときは、今日考えた言葉・ロールプレイのように、発信してみよう</li> <li>・周りの大人もあなたの心の痛みを癒すための力になる</li> <li>・SCの恵谷先生とお話したいときは担任・養護など先生に伝えてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったことがあったら、今日のような言葉で言うと良いんだと分かった</li> <li>・気持ちを考えて言葉を考えるのは難しかった</li> <li>・これからはもう少し友だちの気持ちを考えてみたい</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さん:「なるほど、それはつらかったね」という言葉が嬉しかったよ</li> <li>・ さん:うなずきながら聞いてくれて話しやすかったよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ふせん (ふせんは自分のワークシートに貼っておく) ワークシートと「自分マップ」は授業後回収</li> </ul> <p>本時の学習と自分の生活をつなげて思考し、これからの生活に活かすことを記述できたか。</p>	<p>7</p>
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------

(5) 観点・ご指導いただきたいこと

ケースを用いて、“心の痛み”に着目し、登場人物の気持ちを想像しながら、SOSを出したり受け止めたりするときの言葉を個人やグループで考える活動は、「SOSの出し方・受け止め方」を具体的に想定し、SOSを出したり受け止めたりする力を身につけることの手立てとなっていたか

「聞くときのマナー」「話すときのマナー」「キーワード」は児童がSOSを出したり受け止めたりすることを学ぶ際の手立てとして有効であったか

スクールカウンセラーをゲストティーチャーに迎え、相談が必要な場面や相談の仕方について教えていただいたことは、児童が「SOSの出し方・受け止め方」を学ぶ上で有効であったか